

## 博物ふえすていばる！・レポート

Report of "Hakubutsu Festival", the event for all science-lovers

熊澤辰徳\*

Tatsunori KUMAZAWA\*

2014年8月9、10日、科学技術館で、博物学を愛する人たちのためのイベント「第1回博物ふえすていばる！」（以下博物ふえす）が開かれた。生物学をはじめ、鉱物や化学、物理、数学、考古学など、幅広い分野の愛好家や研究者が集い、それらをテーマにした創作物の販売や展示、研究発表などが行われた。両日で115のブースが出展し、来場者は土日合わせて3814人（両日来場を含むと延べ4000人以上）に達した。



開場前から入場待ちの長い列ができた。

両日とも開場前から長蛇の列ができ、一時入場制限がかかるほどの来場者が訪れた。土曜日は初日ということもあり、時間帯によっては入場までに1時間以上並んだという人もいた（なお土曜日だけで2300人以上の来場者を記録）。日曜日は台風11号が関東地方にも上陸したが、午後から子供の入場が無料ということもあり、会場には常に多くの来場者が押しかけていた。扱われた題材はブースによって多様で、生き物だけでも哺乳類や爬虫類などの脊椎

動物、昆虫や棘皮動物などの無脊椎動物、植物、菌類、微生物、古生物、空想生物まで、ありとあらゆる生物が様々な形のグッズや展示として扱われていた。もちろん生物学だけでなく、鉱石、金属結晶、電子部品、化学実験器具、計算機、医療器具、石版など博物学に関連したあらゆるグッズや展示が並び、果ては土偶のパントマイムや「物理学研究者」そのものの展示など、様々なアプローチで博物学の多様な分野の魅力に触れられる場となっていた。

この博物ふえすは、2013年に開催された生物系創作イベント「生きものまーけっと」（以下なまけっと）の流れを汲んで開催された。そのため、生物系のブースが比較的多く、なまけっとと博物ふえすに両方出展しているブースも少なくなかった。しかし、なまけっとが展示販売を中心としていたのに対し、博物ふえすはより学問的な部分を前面に押し出している。その好例が「ガクモンからエンタメ」という試みで、物販を行うブースでは、学問や研究から影響を受けた作品や、学問・研究を紹介する作品をブー



一時入場規制がかかるほど大盛況だった会場

\* 大阪市立自然史博物館

ス内に展示するという企画である。ほかにも、研究者などによるワークショップや、出展者から一押し of 博物を募り、その中から次回のイメージ博物を決める「博物総選挙」といった企画もあり、ただの展示即売会ではなく、「一期一会の博物館&ミュージアムショップ」(公式サイトより)となっていた。

本誌『ニッチェ・ライフ』は、博物ふえすの公認取材班として、両日ともブースを出展した(ブース No.66)。そこでは、各ブースの出展者や来場者の皆様に取材を行うとともに、ブース内に出張編集室を設けて、随時紙面の編集を行う試みを行った(会場を回って取材をしている時間が多く、編集の様子をあまり公開できなかったのが残念だったが…)

本誌ブースに御来場いただいた方に話を聞くと、「特に目的のブースがあったわけではないが、博物学全般に関心があり、自分でもグッズづくりをするので来たかった。すでにたくさんのグッズを買った」「こういうイベントはなかなかないから面白い」といった方が多く、博物学全般に広く関心を持った人が多いような印象を受けた。中には「次の博物ふえすに出たいと思って見に来た」という方も。さらには『ニッチェ・ライフ』を読んで、DIY Biology に関心を持ち、知り合いにも記事を広めた」という嬉しいお話も頂いた(DIY Biology については第1号の記事を参照)。



隣のマイクロ・ライフブースとは共同出展。前号で掲載したマイクロ生物を、実際に顕微鏡で覗けるコーナー。

次回も「2015年夏に科学技術館での開催を予定」(主催者)とのことで、学問とエンターテインメントがさらに混ざり合った、他に類のない定期イベントに成長していくことを期待している。



ニッチェ・ライフブース。左の画面で編集風景を公開し、第1号の見本を展示した。画面に写っているのは、博物総選挙で推薦したキラメキアシナガバエ。

今回の特集号刊行に当たって、公認取材班として便宜を図って頂いた小毬かのか様(パイライトスマイル)ならびに菅原紫穂様(カンブリ屋)、取材・撮影を快諾頂いた各ブースの出展者の皆様、本誌ブースにて取材・撮影・アンケートにご協力いただいた皆様、本誌ブースに御来場いただいた皆様、提携ブースとしてブース運営・取材にご協力いただいた「マイクロ・ライフ」(ブース No.67)、「スマホ顕微鏡が見つかるあなたの微小宇宙—Life is Small プロジェクト—」(ブース No.109)の皆様に、この場を借りて心より御礼申し上げます。

#### 参考 URL

博物ふえすていばる! 公式サイト  
<http://hakubutufes.com/>  
 博物ふえすていばる! のススメ (小委員会ブログ)  
<http://ameblo.jp/hakubutufes-sub/>  
 博物ふえすていばる! 公式ツイッター  
<https://twitter.com/hakubutufes>  
 博物ふえすていばる! 小委員会ツイッター  
[https://twitter.com/hakubutufes\\_sub](https://twitter.com/hakubutufes_sub)